

## 営業の概況

### 「SPR」システムの活用促進で、企業のIT投資を強力にサポート

#### 景気は緩やかな回復基調

当連結会計年度(平成17年1月1日～平成17年12月31日)におけるわが国経済は、原油高などの不安要素はあるものの大手製造業が好調を維持し、加えて企業業績の回復が大手非製造業や中小企業へと広がりを見せました。また、企業の設備投資が増加し雇用情勢も回復傾向にあるなど、国内景気は内需を中心に緩やかな回復基調にあると推察されます。

#### 企業のIT投資は引き続き堅調に推移

当社グループの属するIT関連業界におきましては、平成17年4月1日の個人情報保護法全面施行により企業における情報セキュリティ対策投資が本格化したことに加えて、システム更新需要の継続やIT投資促進税制等の支援策もあり、企業におけるIT投資は引き続き堅調に推移しました。

#### お客様のコスト削減、生産性向上を支援

このような状況の中で当社グループは、平成17年度のスローガンを「お客様と共に成長し、信頼に応える」とし、既にお取引のあるお客様との取引拡大を図り、併せて新規顧客開拓にも注力いたしました。そのために、独自開発の顧客管理および営業支援システム「SPR」の機能強化と活用促進を図り、取引履歴、対応履歴、お客様の声や商談状況等を共有して、コスト削減や生産性向上といったお客様のニーズにマッチした最適なソリューション提案と効率的な営業活動に努めました。

具体的には、複写機、コンピュータ、FAX、電話機、回線などを組み合わせた複合システム提案を積極的に行い、情報セキュリティ関連ビジネス、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」等の重点戦略事業に引き続き注力しました。

## 連結売上高初の4,000億円超えて、売上・利益とも過去最高を更新

### 売上高9%増収

### 営業利益28%、経常利益30%増益

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高4,094億13百万円(前期比9.9%増)、営業利益219億11百万円(前期比28.8%増)、経常利益222億10百万円(前期比30.4%増)、当期純利益は117億47百万円(前期比4.4%増)となり、前期に計上した厚生年金基金の代行返上に伴う特別利益54億81百万円の影響を吸収し、増収増益となりました。

(単位:百万円)

	平成16年12月期	平成17年12月期	
	金額	金額	増減率
売上高	372,481	409,413	+9.9%
営業利益	17,009	21,911	+28.8%
経常利益	17,036	22,210	+30.4%
当期純利益	11,247	11,747	+4.4%

### 「SPR」とは

「SPR」は当社が独自に開発した顧客管理 & 営業支援システムです。

このシステムには、お客様のプロフィールや取引履歴(過去)はもとより、日々2万社に及ぶお客様との面談、コンタクト情報等が蓄積されています。

このシステムでお客様への提案状況(現在)やお客様の要望・ニーズ(未来)を把握し、情報を多面的に分析し活用することで、個々のお客様に最適な提案を効率よく行うことが可能となっています。

**SPR**: Sales Process Re-engineering の略称

当社独自開発の CRM + SFA システム  
(顧客管理) (営業支援)

お客様のプロフィールを正確に知る

お客様との取引履歴(過去)を知る

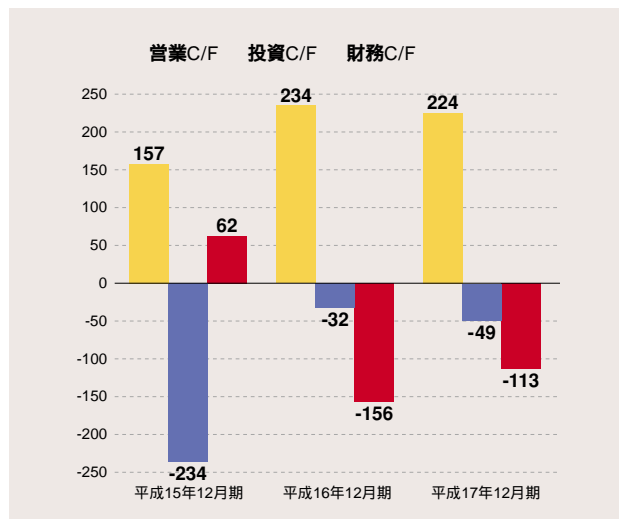
お客様への提案状況(現在)を知る

お客様の要望・ニーズ(未来)を知る

科学的営業でCS向上と効率アップを同時に実現

## キャッシュ・フローの推移

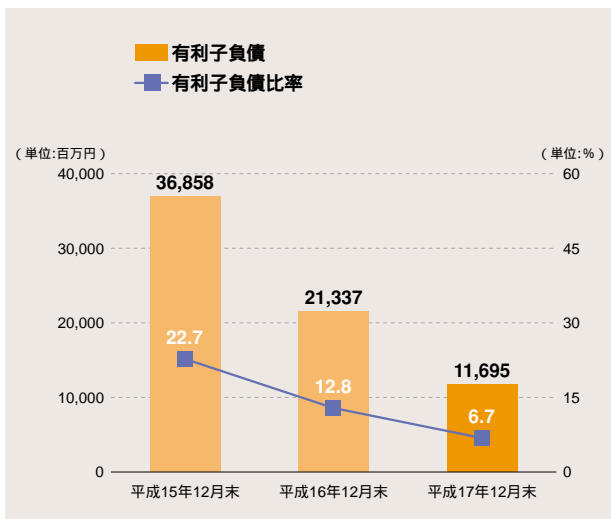
(単位: 億円)



好調な業績を受け、営業活動によるキャッシュ・フローは当連結会計年度においても順調に推移し、224億68百万円(前期は234億94百万円)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは49億86百万円(前期は32億45百万円)となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済を進めたことなどにより、113億38百万円(前期は156億17百万円)となりました。

## 有利子負債の推移



当連結会計年度におきましても、順調な営業活動によるキャッシュ・フローを背景に借入金の圧縮を進めた結果、有利子負債(短期借入金および長期借入金)は約96億円減少し、116億95百万円となりました。この結果、有利子負債残高が、現預金残高145億7百万円を下回りました。

## 事業セグメント別の概況

### システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、オリジナルのナレッジマネジメントシステム「ODS21」や統合型基幹業務システム「SMILEシリーズ」に注力した結果、パソコン、サーバ、情報セキュリティ関連商品の販売が引き続き好調に推移し、売上高は2,582億75百万円(前期比8.2%増)となりました。

### サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフオンサポート、教育等によりシステム導入後をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、Webサイトおよびカタログによるオフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」が引き続き好調に推移し、OAサプライを中心に高伸長を続けたことに加えて、情報セキュリティ関連サービスを含む保守等も堅調であったことから、売上高は1,491億円(前期比13.9%増)となりました。

### その他の事業

その他の事業では、売上高は20億37百万円(前期比27.0%減)となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位:百万円)

